

Shining hintoku ★

2017 年 6月
図書室だより plus+

朝日新聞 2017 年 5 月 31 日(水)発行

中間試験も終わり、ホッとした人も多いのではないのでしょうか。きっとみんなもわかっているはず、試験1週間前の急な対策ではなく、一夜漬けでもなく、大切なのは日々の復習だということ。歯磨きをしない日がないように、自主勉強しない日はないの。なんてみんなの口から聞いてみたい。習慣化している人は強いです！練習・勉強はウソつかない！

習慣化といえば……あなたは朝、新聞を読みますか？新聞を開くと、自分の好き嫌いに関わらず、大きな紙面から色々な情報が目に入ります。内容の本質をつかむ力がつきます。情報を取捨選択する力は「決められる人」になります。生きる力につながります。

図書室には『朝日新聞』があります☆

自転車 パンク心配無用

① 自転車に乗っていると、パンクが心配になることがある。そんな心配が無用の「パンクしないタイヤ」をブリヂストンとブリヂストンサイクルが開発中だ。2019年の実用化を目指しているというが、それまで待ってられない。東京都小平市のブリヂストンの技術センターを訪ねた。

② 新しいタイヤは、空気を使わない「エアフリー」がコンセプト。内側のホイール部分は高い強度と柔軟性のある熱可塑性樹脂でできており、外周部にゴムが貼られている。

③ 従来のタイヤは、ゴムタイヤとチューブに入れた空気でクッション性を保っている。エアフリータイヤは、ホイールの特殊な形状のスポークがしなやかに曲がって、タイヤ全体で衝撃を吸収する。

④ スポークの一つ一つは、真横から見るとスプーンの柄のような形に曲がっている。中心側と外周側で太さも微妙に違う。クッション性を出すための構造解析を続け、この形にたどり着いたそうだ。



ヒット!

予感実感

【商品名】自転車用エアフリータイヤ
【発売時期】2019年予定
【サイズ】20インチなどを検討
【試乗】6月に横浜市で開かれるイベントなどで試乗できる

⑤ エアフリータイヤをつけた自転車に試乗させてもらった。従来のタイヤの自転車と乗り比べると、平らな場所を走った場合、差は全く感じない。段差のある場所では、エアフリーのほうが少しお尻に衝撃が残ったように感じた。

⑥ 一方で、エアフリーは、車体が安定している気がした。安定性を重視してタイヤの接地面が広がるよう扁平にしているという。従来のタイヤは、チューブが入っているため、タイヤの断面は丸くなるが、エアフリーは、断面の形を比較的自由に設計できる。スピードよりも安定性を重視

する利用者のニーズを取り込むことができるという。

⑦ 走行中は、スプーンの柄のように曲がったスポークが日光を浴び、タイヤの回転とともにきらきらと光って、きれいだった。おしゃれに敏感な若者たちにもうけるだろう。

⑧ 現時点では通常のタイヤよりも高い価格になりそう。これをどこまで下げられるかが当面の課題となりそうだ。

(野口陽)

⑤ エアフリータイヤは従来のタイヤより、段差のある所では少し衝撃を受けやすいらしい。(だから、クッション性の研究に力を入れていたんだね～)

⑥ でもエアフリーは車体の安定性が良い！
従来のタイヤ エアフリー
地面
地面の接地面が広いほど安定性が増すんですね。スピードより安定性のエアフリー♡

⑦ 素材の見た目について。
オシャレなやり
なんですかね～
ステキ♡

⑧ 高い価格って!?!
一番気になることを最後の段落でサラッと触れていかれました～

段落ごとに
おしゃべり

しています
いっしょに読もう!



① 2年後にはタイヤのパンクなんてない自転車が出てくる！
ブリヂストンが開発中。

② 新しいタイヤは空気いらすのエアフリー
強くてしなやかな樹脂を使って
できている。

③ 従来のタイヤとエアフリーのクッション性の比較

④ エアフリーはクッション性をどのようにして出すかをポイントに研究を続けて
こられたようです。エアフリーのクッション構造！